

平成26年度
岡山県学力・学習状況調査

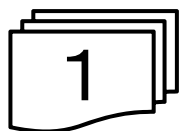
調査問題を活用した授業改善のポイント



岡山県教育庁義務教育課

国語





授業改善のポイント

「司会者の役割」や「参加者の役割」を理解し、その役割を果たすことのできる力を付ける授業になっていますか？

改善のポイント

- ① 付けたい力を明確に
- ② 付けたい力にふさわしい言語活動の設定・指導過程の構築
- ③ 具体的な手立てを
- ④ 系統性を踏まえた授業づくり

オープンスクールでの高齢者の方との交流会の内容
 についての話し合いにおいて、**司会や参加者の役割を
 捉えたり、話し合いの流れを踏まえて交流会の内容に
 ついて条件に従って適切に書いたりする問題。**

平成26年度
 岡山県学力・学習状況調査

中学校 第1学年
国語

実施時間：45分

「始めなさい」の指示があるまで、この問題用紙は開かず、
 下の調査の受け方を読んでおきなさい。

調査の受け方

1. 答えはすべて解答用紙に書きなさい。
2. 調査を始める前に、この問題用紙には、組、番号を、解答用紙には、
 学校名、組、番号、性別、小学校コードを書きなさい。
3. 印刷ではつきりしないところがあるときは、だまて手をあげなさい。
4. 筆記用具以外は、机の上に置かないようにしなさい。

1 年 組 番

岡山県教育委員会

3

おおひら中学校一年生の相川さんのクラスでは、オープンスクールで、地域の高齢者の方との交流会を行います。次の「話し合いの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。

「話し合いの様子」

相川（司会） 先日、高齢者の方に、交流会の内容についてアンケートをとりました。その結果をまとめたので、〈資料〉を見てください。

〈資料〉

1	中学生に歌を聴かせたい。………8人
2	中学生に昔話や体験談を話したい。………7人
3	中学生に昔の遊びを教えたい。………7人
4	中学生に歌を聴かせてもらいたい。………5人
5	中学生といっしょにものを作りたい。（折り紙など）………4人
6	中学生といっしょに料理を作りたい。………3人

相川（司会） この結果を見ると、高齢者の方の希望は、大きく三つに分けられると思います。つまり、1と4は「私たち中学生に」ア「もの」、2と3は「私たち中学生に」イ「もの」、5と6は「私たち中学生と」ウ「もの」、といえます。そこで、これをおまて、交流会でどのようなことをすればよいかを、みんなで考えたいと思います。それでよいですか。

全員 はい。

と知っているのですが、ただお互いが一方的に何かをするというだけでは、もつと何か、中学生も高齢者の方も同じ時間を過ごしたことが喜びにつながるような……。すみません、まだ考えがまとまりません。

田中 村井さんの言いたいことって、交流を通じて、高齢者の方に、私たち中学生に何かを伝えることができたと実感していただくだけでなく、互いの心が通い合うような時間が持てるとういことではないかと思うのですが、どうですか。

村井 田中さん、ありがとうございます。そういうことです。

相川（司会） 高齢者の方と気持ちが通い合い、充実した時間だったと感じられる交流会にしたいということですね。それなら、高齢者の方も私たちも楽しめて、

たちが学べるような……。考え……

相川（司会） それでは、交流会の内容について意見を出してください。

田中 私は、高齢者の方の若いころに流行した歌を私たちが練習して、発表するのがよいと思います。高齢者の方が昔を思い出して、若々しい気持ちになり、喜んでいただくことができると思います。

松本 ほくは、高齢者の方に昔話や体験談を話していただくのがよいと思います。ほくたちの知らない話が出てきて、ほくたちもいろいろと学ぶことができると思っています。祖母もそうなのですが、昔の話をするとき、生き生きとします。お話をうかがうことで、高齢者の方に喜んでいただくことができるのではないのでしょうか。

村井 そうそう、うちの祖父も同じです。よく、ききだめしの思ひ出話をしてくれますが、ほくがくわがごとく、ますますはりきって、いつも同じ怪談を話し出して、それで……。

相川（司会） 村井さん、ちょっと、待ってください。

村井 すみません。ほくは、昔の遊びを教えていただくのがよい

3

問題 3

オープンスクールでの高齢者の方との交流会の内容についての話し合いにおいて、**司会**や参加者の役割を捉えたり、話し合いの流れを踏まえて交流会の内容について条件に従って適切に書いたりする問題。

【出題のねらい】

- ・ 司会の役割を理解したうえで話し合いを進行することができる。

正答

(2)

4

(2)

【話し合いの様子】の□で、相川（司会）さんは村井

さんに対して、どのような発言をしたと考えられますか。

□にあてはまる言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

10

- 1 すみませんが、もう一度言ってください。
- 2 具体的な体験談がありありがとうございます。
- 3 ほかに人に対する質問はあとにしてください。
- 4 発言が話し合いの流れからそれていませんか。

4

問題 3

オープンスクールでの高齢者の方との交流会の内容についての話し合いにおいて、司会や参加者の役割を捉えたり、話し合いの流れを踏まえて交流会の内容について条件に従って適切に書いたりする問題。

【出題のねらい】

- 話し合いでの発言の意図を理解することができる。

正答

(
3
)

3

(3) 田中さんの「交流を通じて①どうですか」という発言の意図として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

15

- 1 村井さんに、具体的な提案をうながす意図。
- 2 村井さんの発言の欠点を指摘し、参加者に考えさせる意図。
- 3 村井さんが言い切れなかった部分を、明確にする意図。
- 4 村井さんの意見のよさを、参加者にうったえる意図。

5

問題 3

オープンスクールでの高齢者の方との交流会の内容についての話し合いにおいて、**司会**や参加者の役割を捉えたり、話し合いの流れを踏まえて交流会の内容について条件に従って適切に書いたりする問題。

- (4) 話し合いを進めやすくするために、あいかわ相川(司会)さんがしていたこととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。
- 16
- 1 参加者に守ってほしい発言のルールを、初めに具体的に示したうえで、意見を述べる順番も明確に決めていた。
 - 2 参加者の発言に対する自分の疑問や意見を積極的に述べて、ほかの参加者が発言しやすいふんいきを作っていた。
 - 3 参加者が意見を述べるたびに、わかりにくい点を質問して、言葉を付け足していた。
 - 4 参加者の案を整理したり、意見をまとめたりして、話し合いの方向性を示していた。

【出題のねらい】

- ・ 司会の役割を理解を理解することができる。

正答

(4)

4



ポイント① 付けたい力を明確に

司会の役割を理解し、立場や意図を捉えながら
話し合う力を付ける授業

話し合いを円滑に進めるためには...

司会

違う立場から出されたそれぞれの意見を整理



参加者

司会の果たす役割を理解した上で、協働的な態度で話し合いを進める

「協働的な発言」とは？

互いの意見のよいところを吸収して
最も優れた解決策を考えるような発言





ポイント① 付けたい力を明確に

司会の役割を理解し、立場や意図を捉えながら
話し合う力を付ける授業

司会の具体的な話し方やまとめ方を学習する場の設定

(例) ✓ モデルとなる討論会の様子の動画による視聴

✓ 実際の話し合いの後に、司会の進行について
良かった点や改善点を交流し合ったりする

✓ 司会の役割をまとめる

など

多くの児童が司会を経験することが大切

学習指導のスタンダード「学びのかなめ」

- 言葉のルール
- 発表の仕方、話の聞き方



互いの立場や意見を踏まえた上で、 質問や意見を言って、話し合う力を付ける授業

自分の意見と相手の意見とを比較して、
立場や意見の違いを明確にした上で、質問や意見を述べる。

相手の意見を引用した発言
根拠となる事実を明確にした発言



事実の裏付けのある意見を発表するために、
事前に話す内容を想定し、根拠となるデータや意見を収集しておく。

簡潔でわかりやすい発言



発言できる時間が限られているので、
自分が最も伝えたいことを端的に発言する。

学習指導のスタンダード

「学び合う学習集団づくり」

- どの子も活躍(発言)できる場面を...
- 互いに認め合う関係づくりを...





ポイント① 付けたい力を明確に

互いの立場や意見を踏まえた上で、
質問や意見を言って、話し合う力を付ける授業

話し手の目的や意図は何か？
伝えたいことは何か？
共に考えたいことは何か？

相手の話の内容を十分に聞き取ったり、必要に応じてメモを取るなどして、

自分の考えとの共通点や相違点
関連して考えたこと など

自分の考えをまとめる

学習指導のスタンダード
【授業5(ファイブ)】

②自分で考え表現する時間を確保する。



様々なスタイルの話し合い活動

【具体例①】シンポジウム

聞き手の前で発信者が決められたテーマについて提案し、その後、聴衆(参加者)が質問や意見を出し合い、新しい考え方を発見する話し合いの方法

① 司会: テーマについて説明する (約1分)



② パネラー: 自分の意見を発表する (1~3分)



③ 司会・パネラー: 対立している点をまとめ、
パネラー同士が議論する (約10分)



④ 司会: 会場から質問を受ける (約5分)



⑤ パネラー: 言い残したことやまとめたことの意見を発表する (約1分ずつ)

【ポイント】全員の積極的な参加
司会者:

疑問を投げ掛けるなど発言が
活発になるようにする

パネラー:
参加者全員で考えていきたい
内容を提案する

聴衆:
聞くだけに終わらず積極的に
質問や意見を言う



様々なスタイルの話し合い活動

【具体例②】パネルディスカッション

聞き手の前で発信者が決められたテーマについて異なる立場で議論する話し合いの方法

① 司会：共通の課題の確認



② パネラー：各パネラーによる提案



③ 聴衆：質問・意見

提案に対する自分の考えの発表

(例)「～と思うのですが、どう思いますか」など



④ パネラー：パネラーの意見



③④を繰り返し、意見を深めていく

⑤ 司会：まとめ



⑥ パネラー：言い残したことやまとめたことの発表





言語活動の充実を目指すために

様々な学習活動において、国語科との関連を意識して実践していく。

総合的な学習の時間の体験活動などを、国語科での学習活動の教材として考える。

国語科での言語活動

総合的な学習の時間での活動
他の教科での活動

総合的な学習の時間の発表などを、国語科で身に付けた話す力を発揮する場面と考える。

「話すこと・聞くこと」の指導で身に付けた力を、日常的な学習で想起させ、繰り返し使わせるようにする。

学年の発達段階・学習の系統性を踏まえた授業づくり

A 話すこと・聞くこと「話し合うこと」の発展系統(学習指導要領から)

小学校	第1・2学年	互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと
	第3・4学年	互い考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと
	第5・6学年	互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと
中学校	第1学年	話合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること
	第2学年	相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること
	第3学年	話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと

今回の問題は「...」

平成26年度
中学校 国語A

平成26年度
小学校 国語B

